

マンホール^{防食工法}で新たに審査証明

適材適所の工法選定可能

JERコンクリート補改修協会

下水処理施設処理場・ポンプ場・管渠・人孔等のコンクリート施設では、硫化水素に起因して生成される硫酸による腐食劣化が生じることが周知のとおりである。下水道は高普及率時代であり、膨大な施設がストックされるとともに、老朽化と劣化が進むため、今後、これらの施設を維持管理し長寿命化を図るためには、計画的に体系的で効率的な補改修対策を行うことが重要となっている。

JERコンクリート補改修協会は塗布型ライニング、シートライ

ニング、モルタルライニング工法など各種の材質による様々なコンクリート防食被覆工法を協会認定工法としてラインアップしている。特に塗布型ライニング工法に分類される新規開発工法ジックテクトVE工法は補強布を用いないFRP防食工法で、工期短縮・施工性の向上を可能にする画期的な工法となっている。

JERコンクリート補改修協会内に管路部会が発足し、管路施設(マンホール・管渠等)の

管路部会認定工法

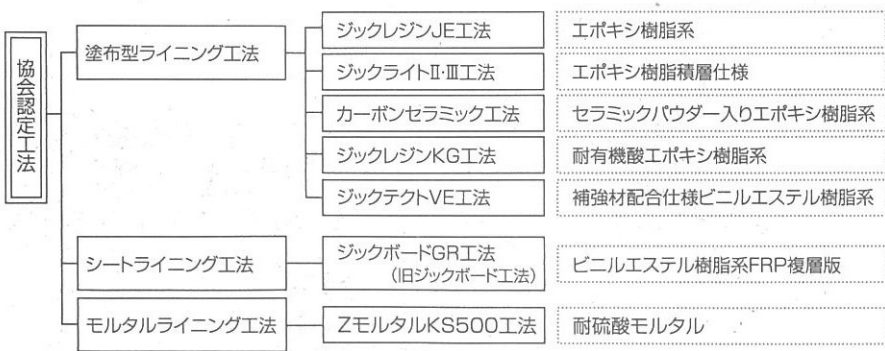
2016年6月にJERコンクリート補改

修協会内に管路部会が発足し、管路施設(マンホール・管渠等)の2454号を取得して

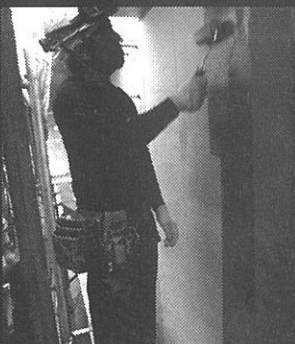
改築・更生・防食・修繕等に係わる優れた技術・工法の普及を推進している。

J工法の建設技術審査証明(下水道技術)第2454号を取得して

いる。更生工法は耐腐性能や耐震性能を有する。さらに、下水道マンホール防食工法で、ZモルタルKS500M工法の建設技術審査証明(下水道技術)第210号を新たに取得した。各種防食工法は、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」で分類している各種腐食環境に対する適合性を有し、全国各地の下水処理水槽・マンホール・管渠等で多数の施工実績を有している。



協会認定工法のラインアップ



ジックテクトVE工法

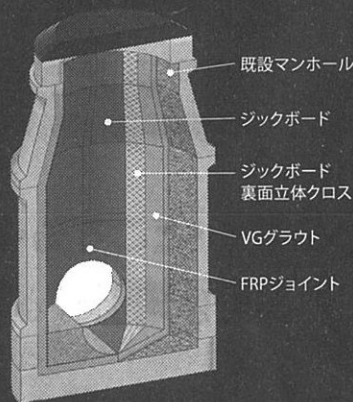
ガラスマットへの含侵脱泡工程が不要
工期短縮・施工性の向上

自立マンホール更生工法

ジックボードVG工法

公益財団法人 日本下水道新技術機構より、
建設技術審査証明(下水道技術 第2406号)を取得しました。

施工性向上・工期短縮、非開削で
施工が可能な自立マンホール更生工法。



JR JERコンクリート補改修協会

事務局 (日本ジックウ内)

〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14-6

[TEL] 078-977-0701 [FAX] 078-977-0722

<https://www.jer.jp>

右側のQRコードからJERコンクリート補改修協会のホームページにアクセスできます

